



レクチャー “ピアサポートとは～仲間で支え合おう！～”

ピアサポートとは、同じような体験をした者が仲間同士でお互いがお互いを支える、支えられるという意味です。がんを体験した者同士、がんである家族を支える者同士のピアサポートの実際について先生にお話しいただきます。

大松重宏 おおまつ しげひろ（兵庫医科大学地域総合医療学准教授）

1983年関西学院大学社会福祉学部卒。1998年から国立がんセンター中央病院にて社会福祉の視点からがん患者やその家族の相談支援に携わる。同がん対策情報センターを経て、現在は兵庫医科大学社会福祉学で医師養成の傍ら、実践の場をささやま医療センターにおいてソーシャルワーカーとして地域医療連携に携わっている。近年注目されているがんサバイバーの様々な問題に対し、早くから取り組んでいる。がん患者のセルフヘルプグループ・ピアサポートについて研究し、医療従事者だけでなく、がん患者会等に出向き、ピアサポートについての啓発活動を行う。これまで長年にわたり、臨床現場でがん患者さん・ご家族に寄り添ったソーシャルワークに携わってこられた先生は、医療従事者（医師や看護師）からも絶大な信頼を得ている。



ピアノ・ミニコンサート

“音楽とともに”



東灘区在住の父子ピアノデュオによるミニコンサート。自閉症と診断されながら音楽に喜びを見出した徹さんと、父親の健さんの絶妙のアンサンブルをお楽しみください。

中村 徹 なかむらてつ（ピアノ・作曲）

1982年ドイツ生まれ。6歳直前にミュンスター大学病院で高機能自閉症と診断される。2か国語生活は困難とのアドバイスを受け、一家とともに日本へ。2001年大阪音楽大学ピアノ科に入学。2010年同専攻科作曲専攻を修了。演奏活動のほか、ピアノ曲、打楽器アンサンブルなどを次々と発表。2012年兵庫県立芸術文化センターにて自作作品による作品展「中村徹の世界」を開催、大好評を得る。【youtube検索：中村徹の世界】。

中村 健 なかむらけん（ピアノ）

神戸生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科、同大学院指揮専門課程、同大学講師を経て1978年度独。オペラ劇場の指揮者を12年務める。1990年神戸女学院大学音楽学部着任。本年4月より同大学名誉教授。神戸栄光教会会員。

2人の連弾は10数年前から。最初は障害者仲間内の余興で披露する程度であったが、マスコミの知るところとなり、このところ小ブレイク。古今東西の連弾作品、徹のオリジナル作品、2人によるオーケストラ曲の編曲を主なレパートリーとする。ミニコンサートを組み合わせた発達障害の講演活動も各地で展開。現在自作連弾作品によるCDの制作の企画が進行中、近々リリース。

演奏予定曲

チャイコフスキー：“くるみ割り人形”より「可愛らしい序曲」

フォーレ：“連弾組曲”“ドリー”より

中村 徹：“連弾のための8つのチャルダッシュ”より

中村 徹：“ピアノのための24のプレリュード”より「音の手紙」 ほか



場所：御影神愛キリスト教会 礼拝堂（3階）

時間：13:30 開場

14:00 レクチャー開始

14:50 ミニコンサート開始 終了後メディカルカフェ

レクチャーやコンサートだけのご参加も歓迎致します(無料)

皆様お誘い合わせのうえ、ご参加ください

